

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	総合防災訓練（図上訓練）事業			会計	款	項目	大	小
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	防災危機管理課			
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	大津 真規			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市職員（市災害対策本部の各班長等）	意図	市職員の災害対応能力の向上のため、大規模な災害を想定した図上訓練を実施する。
事業内容	災害対策本部の運営・情報収集・避難所開設などの図上訓練			
事業開始から現在までの状況変化	平成29年から2か年の継続事業。平成29年度は、課題付与型図上訓練を実施した。平成30年度は、前年に実施した課題付与型図上訓練から発展した内容のロールプレイング型図上訓練を行った。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	職員訓練参加職員数		45	45	人	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	大規模な災害が起こった場合に迅速かつ適切な対応ができるよう、平成29年度は、課題付与型図上訓練を実施。平成30年度は、前年に実施した課題付与型図上訓練から発展した内容の、ロールプレイング型図上訓練を行った。
事務事業の総コスト(a=b+c)		2,027,324	2,516,996	
事業費(b)(円)		684,924	1,198,596	
うち一般財源		684,924	1,198,596	
職員給与費(c)(円)		1,342,400	1,318,400	
人役・職員(人)		0.20	0.20	
人役・再任用(人)				
人役・臨職(人)				
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）				

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	平成29年度に実施した課題付与型図上訓練から発展した内容の、ロールプレイング型図上訓練を行う。	③取組における課題(Check)	継続的な実施や、より実践的な訓練の必要性が問われている。
②H30に実施した取組(Do)	市職員（市災害対策本部の各班長等）を対象に、ロールプレイング型図上訓練を行った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	災害時に実務を担当する職員を含めるなど、より実践的な内容のロールプレイング型図上訓練を行う必要がある。